

おばこ稻作情報



「まわりぶち」

枕地(耕盤)を痛めない(深くしない)耕起

2025年4月
No. 64

JA秋田おばこ

秋田おばこ米
持続可能な農業の実践
for SDGs



4/26～5/25

気温

高い 見込み



降水量

ほぼ平年並見込み



日照時間

平年並か少ない見込み



暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。東北日本海側では低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の日照時間は平年並か少ないでしょう。東北日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

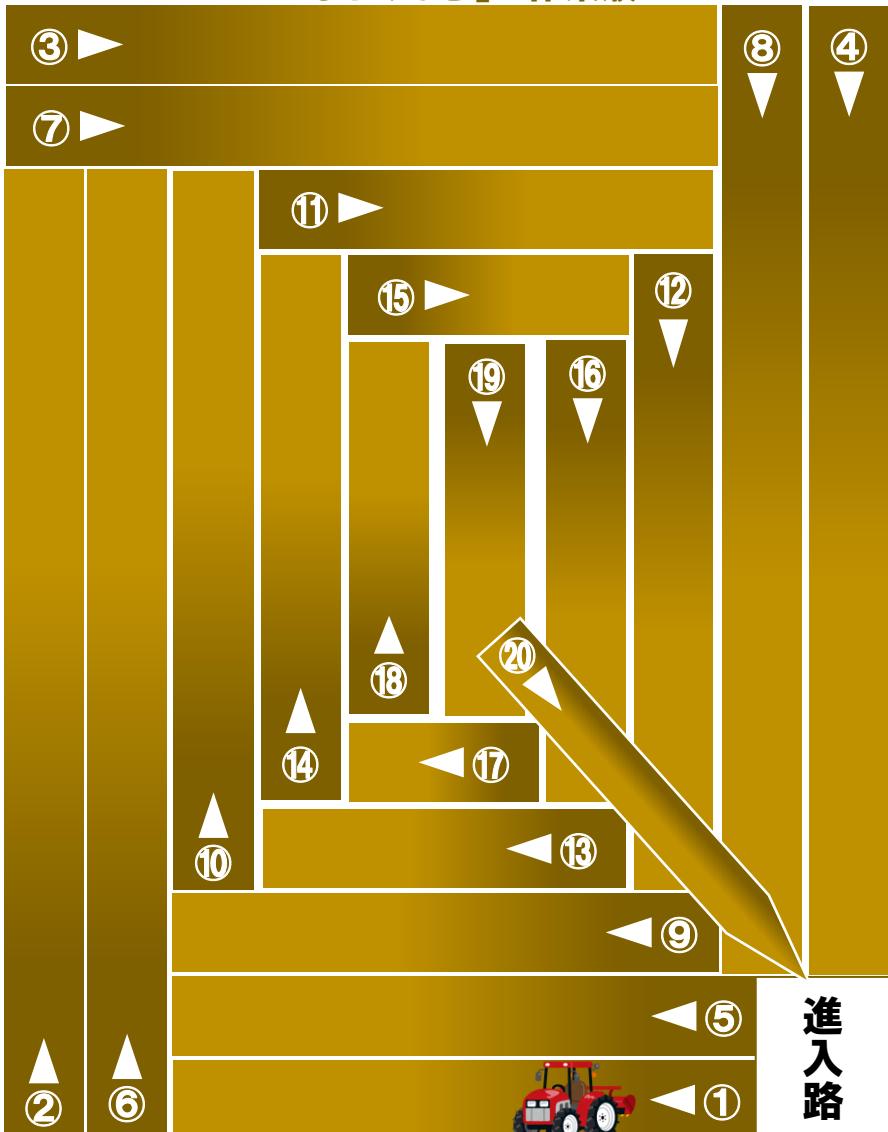
今年は、ほ場が乾かず、ぬかるみながら作業が進んでいます。雨天が続き、水はけが悪く、柔らかい圃場で「枕地を深くしない」耕起方法として下図のような耕起方法があります。

この方法では、枕地で旋回を行わないとめ、枕地が深くならず、耕深が確保できる方法です(4隅先ぶち不要です)。

外周①から耕起を初めて、最後⑮は、中央からタイヤ跡を浅く耕起しながら退出します。

圃場の状態に合わせてお試しください。

「まわりぶち」の作業順



育苗 ワンポイント アドバイス

日照が少ないので、保温管理としがちですが、換気も大切です。蒸れ無いようにハウスの開閉をしましょう。

過かん水にも注意。かん水の量は苗が小さいころは少なく、大きくなるにつれて増やします。晴れて暑くなるときはいつもより多めにします。一方の床土の湿り具合、天気に応じてかん水量を調整しましょう。



③▶

⑦▶

⑪▶

⑯▶

⑩▶

⑭▶

⑮▶

⑯▶

⑰▶

⑱▶

⑧▼

④▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

⑯▼

進入路